



篠原小学校「学校だより」

令和7年1月7日

しのささっ子



巳年のはじまりです



17日間の冬休みが終わり、今日から3学期が始まりました。学校に子供たちの元気な声や笑顔が戻ってきました。やはり学校の主役は子供たちです。3学期は47日間というとても短い学期ですが、充実した教育活動を行っていきます。そして、693人の子供たちが事故なく元気に、そして楽しい学校生活を送ることができるよう支援していきます。

この3学期は、自分を大切に、自分の目標に向かって努力をする学期になるように、始業式では次のような話をしました。

「自分のことは自分で決めよう」「自信が付いて自分を好きになる」

新しい年を迎えて、皆さんは、今年の目標を決めましたか。2学期の終業式の時、書き初めの話をしましたね。校長先生が決めた今年の目標は、「本をたくさん読む」です。スマホやタブレットを見る機会が増えて、本を読むことが少なくなっていることに気付いたので、今年は本をたくさん読もうと思います。

皆さんは目標を決める時に、どうやって決めていますか。自分で決めるのが好きですか。人に決めてもらうのが好きですか。今日の校長先生のお話は、「自分のことは自分で決めよう」というお話です。

校長先生は本で調べてみました。人間は1日の中でたくさん決めているそうです。「どの服を着ようかな」「手を挙げようかな、どうしようかな」と迷うことがあるでしょう。人間は1日に何と「35000回」も何かを決めているそうです。その中には、人に決めてもらうこともあります。自分のことを自分で決めると、よいことがたくさんあります。

その中の一つは、「自信が付く」です。自分で決めると、うまくいけばうれしいし、うまくいなくても、次もまた頑張るぞという気持ちが湧いてきます。

もう一つは、「人のせいにしなくなる」です。人のせいにしないということは、人を嫌いにならないだけでなく、自分のことを好きになります。

でも、自分で決めるのが苦手な人もいます。「何でもいい」「どっちでもいい」と思うことはありませんか。私もよくあります。そこで、自分で決める時のヒントを紹介します。

一つは、「自分のためになるか」を考えます。楽なことと難しいことで迷う時、「自分のためになるかな」「自分の未来や幸せにつながるかな」と考えると答えが見つかります。

もう一つは、「相談する」です。友達やおうちの人、先生に相談すると、自分では気付かなかった考えを教えてくれることがあります。その人たちの考えを聞いて、でも最後には自分で決めるようにしましょう。

今日の始業式のお話は、「自分のことは自分で決めよう」「自信が付いて自分を好きになる」というお話をしました。3学期も、自分の決めた目標に向かってチャレンジする皆さんを応援しています。